

野宿生活者就労対策調査研究事業
野宿生活者が就労による自立をするための支援策の調査研究

報 告 書

平成13年 3月

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

目次

■はじめに

1. 調査研究の目的	i
2. 本報告書の構成内容	ii
第1章 野宿生活者の現状と対応状況	1
1-1. 野宿生活者を取り巻く経済社会環境	1
1-2. 大阪府内における野宿生活者の実態	4
1-3. 諸外国におけるホームレス問題への対応状況	6
第2章 野宿生活者の就労ニーズと求人（雇用）側の対応意識	12
2-1. 野宿生活者の就労ニーズ	12
2-2. 求人（雇用）側の対応意識	38
第3章 野宿生活者の就労・自立支援に関わる取り組み状況	50
3-1. 自立支援センターの取り組み状況	50
3-2. 常用雇用促進事業の取り組み状況	61
3-3. 民間諸団体の取り組み状況	71
第4章 野宿生活者の就労による自立に向けた問題点と課題	77
4-1. 野宿生活者の就労特性	77
4-2. 野宿生活者の就労ニーズと求人（雇用）側の対応意識のミスマッチ	79
4-3. 野宿生活者の就労・自立支援の現段階と課題	80
第5章 先進事例から学ぶ経験と教訓	81
5-1. 野宿生活者の就労・自立支援の先進的取組みにおける経験と教訓	81
5-2. 諸外国における先進的制度および経験と教訓	83
第6章 野宿生活者の就労による自立に向けた支援方策の検討	139
6-1. 就労・自立支援の取り組みの拡充・強化	139
6-2. 開拓可能な就労創出事業の検討	140
6-3. 今後の取組課題	161
■野宿生活者就労対策調査研究実施体制	